

学校法人北里研究所 北里大学東洋医学総合研究所だより



平成28年4月号 (第40巻第2号・通巻第162号)



右絵は岩崎灌園『本草図譜』に描かれたキキョウ

### 桔梗 (キキョウ)

キキョウ科キキョウは日本、朝鮮、中国など東アジアの温帯に広く分布する多年草。草丈40〜100cm。夏に藍色又は白色の花を付ける。秋の七草の一つとしても有名

で、朝鮮ではトラジの名で食用としても利用される。漢方では、根を「桔梗」と称し、止咳、去痰、排膿の効能があり、清肺湯、十味敗毒湯などに応用される。(坂田 幸治)

## 東洋医学の叡智を極め、漢方鍼灸医療を通じて笑顔あふれる社会を実現する

北里大学東洋医学総合研究所

所長 小田 口 浩

皆様、当研究所の玄関から待合室に入ってすぐ左手

(薬局カウンターの並び)の壁にかけられている当研究所の理念が最近変更されたことにお気づきでしょうか?

昨年末、より高いレベルの漢方鍼灸医療を提供するため、理念を改訂いたしました。本記事では、新しい理念の意味するところをご説明させていただくとともに、それを通じて当研究所の目指す姿をお示しいと思います。

まず冒頭の『東洋医学の叡智を極め』についてです。西洋医学は自然科学を基礎に、ヒトの心と体を細分化し、多くのヒトに共通して通用する病気の診断・治療方法の確立を目指して発達してきました。片や漢

ると考えております。

さて、我々が作ったこの理念の一番のポイントは『笑顔』にあります。当研究所漢方鍼灸治療センターの漢方鍼灸医療はすべて、一人一人の患者様が健康を回復、維持し、笑顔になっ

ていたため、医療に携わる者が患者様の病気を治し、あるいは病気の進行を予防するためには、全力を尽くすのは当たり前です。ただ西洋医学では、大多数に共通して通用する治療法を重視するため、目の前の患者様が苦しんでいても「治療法がない」とか、「苦しいのは我慢するしかない」といった対応しかできない場合があります。これに対して漢方鍼灸医学は一人一人の患者様の

方鍼灸医学は、明治維新の影響を受けていったんは衰退しましたが、複雑多様なヒトの心身を総合的に診断し、個々のヒトに焦点を当てた、より人間的な医学として現代日本で再び脚光を浴びるようになりました。当研究所は1972年の開設以来、わが国における漢方鍼灸医学の中心的医療機関として診療や研究に取り組んで参りました。西洋医学中心の医学界において、漢方鍼灸医学の必要性、存在意義を訴え続け、その普及に大きく貢献したと自負しております。この歴史・沿革が、『東洋医学の叡智を極め』に反映されており、今後漢方鍼灸医学のよき伝統を継承していくことが我々の使命であ

#### 東洋医学総合研究所の理念

東洋医学の叡智を極め  
漢方鍼灸医療を通じて  
笑顔あふれる社会を実現する

- 1) 【患者様の笑顔】  
わたしたちは、漢方鍼灸医療を通じてすべての患者様が笑顔になれるための活動を行ってまいります
- 2) 【医師の笑顔・笑顔】  
わたしたちは、北里研究所の伝統と東洋医学総合研究所設立の趣旨に照り、現代日本における東洋医学の先駆者としての自覚と責任をもち、漢方鍼灸医療の伝承と発展に努めます
- 3) 【心身一如】  
わたしたちは、心とからだを不可分なものとし、両者を総合的に包括的な治療を実現します
- 4) 【統合医療】  
わたしたちは、漢方鍼灸医療と現代医療を両輪と考へて相互の長所を吸収し、医療の向上に努めます
- 5) 【未来を志す】  
わたしたちは、患者様の病気の治療だけでなく、病気の予防のためにも漢方鍼灸医療を推進してまいります

2016年1月1日 学校法人北里大学  
北里大学東洋医学総合研究所

多様性に焦点を当てた「個」の医学ですから、たとえ目の前の患者様がどんな病気で悩んでいたとしても、様々な工夫をしてその患者様に合った治療法を適用します。最近の研究成果によれば類人猿やラットも笑うようですが、人間の『笑顔』ほどわかりやすいものはありません。我々は、当センターを受診された一人一人の患者様に「受診してよかった」と感じていただき、その結果自然と笑顔になっていただけ様な漢方鍼灸医療を提供することが、当センターの存在意義であると考えております。皆様、もし当センターの診療内容や対応に関して、理念に反するとお感じになるような状況がございましたら、どうか意見箱にご意見ください。皆様の忌憚のないご意見をいただき、自らも考えながら、より高いレベルの漢方鍼灸医療を提供し、皆様に『笑顔』になっていただけるよう、引き続き精進して参る所存です。

## 不妊症と漢方

漢方診療部

森 裕紀子



不妊症とは妊娠を希望しているがなかなか妊娠しない場合を言います。不妊治療中に気を付けなければならぬのは、不妊で悩みすぎて新たな病気を作らないことです。慢性的の状態を漢方で治療する時に、気血水の概念をよく用いますが、不妊治療の方は、気虚、気鬱、気逆という気の病が多くなります。なぜなら毎月、月経が来るたびに妊娠しなかったという結果をみるからです。心安らかに不妊治療をしている方はほとんどいません。周りの方からの何気ない言葉に過敏に反応したり、友人の妊娠を羨ましく思ったり、そういう自分にいらだつたりしています。また不妊治療は、通院に多くの時間と費用がかかります。でも可能な範囲で、ゆっくり体を休めて

栄養のいいものを美味しく食べて気を補い、散歩でもいいから体を動かし、できれば夫婦一緒に笑う時間を作り、気を巡らすように心がけて下さい。不妊治療に限らず養生は大切です。さて、私は不妊治療の漢方の役割は主に4つと考えています。母体の状態が悪いと妊娠しないように体が働きます。たとえば過度のストレスや体重減少があれば排卵、さらに月経がとまります。漢方薬の1つめの役割は、母体の体のバランスが悪いところがあればそれを調えることです。冷えがあればまず冷えを治します。気の働きが悪ければ気をととのえます。すると乱れていた基礎体温がきれいな2相性になり漢方薬の効果がわかります。2つめの役割は、不妊治療で使用する

るホルモン剤の副作用（むくみや吐き気など）が強い場合に、その副作用を軽減することです。3つめは腎を補う役目です。生殖の力を漢方では「腎」と考え、不妊はその腎が足りない虚の状態と考えるからです。4つめは、医療の力が及ばず妊娠に至らなかったご夫婦が次の選択をする時に心身の健康は大切で、その助けとなることです。

最近、少子高齢化は女性の晩婚化を含め、女性のみが原因のように報道されていますが、不妊症の原因の3割から5割は男性因子が関係しています。ストレスや体調不良のとき、精子の状態は悪くなります。このような場合、漢方治療によ

り精子の所見は改善します。精子は作られるのに3カ月かかるので、体調が改善してから効果がわかるまでに3カ月ほどかかります。また漢方薬服用により、精子の数や運動率という目に見える検査所見に変化がなくても、精子の免疫などの改善が期待できるようです。またED (erectile dysfunction 勃起不全) にも漢方は効果があります。

不妊の原因は様々で、治療として漢方が役に立つ場合、高度な生殖医療が必要な場合、あるいはたまたま妊娠に至らなかっただけで治療が不要な場合があります。不妊治療に漢方を使ってみようと思ったら、気楽に外来を受診して下さい。

## 漢方ドックのご紹介

漢方診療部

石毛 達也



健康をはかるものさし

医療の歴史を振り返りま

す、長い間その目的は目の前にある病氣、当面する患者様に治療を施すということにありましたが、近年

は病気の予防に目が向けられ、人間ドックが普及し総合病院やクリニックなど多くの施設で健康診断として受けることができます。この場合、血液検査やレントゲンなどの数値や画像などの「検査所見」がものさしとなり、健康かどうかが診断されます。

当院では6年程前から漢方専門のドックを提供しておりますが、これは一般の人間ドックと異なり、診察の時に検査機器を用いませぬ。医師が直接患者様の体に触れ、視覚や触覚など五感を駆使して脈診、舌診、腹診などの東洋医学特有の診察方法から体質や受診時の体の状態を診断します。「虚実」「寒熱」「気血水」という概念がものさしとなり、「虚証」「熱証」「瘀血証」というように証(しょう)として病態をとらえます。人間ドックでは客観的な検査所見を重視して健康を診断しますが、漢方ドックでは自覚症状を特に重視し現代医学とは全く異なる

ものさしを使って診断します。

### 未病と養生

『未病』という言葉を一度は見聞きしたことがある方も多いと思います。『未病』は東洋医学的概念の一つで、まだ病気になる前の状態、放っておくと病気になる可能性のある状態のことをいいます。現代医学的な「検査所見」で異常がないのに胃腸の調子が悪い、疲れやすい、眠れないなど身体的・精神的不調を感じる場合は『未病』である可能性があります。

中国の古典には「上工は未病を治す」との記述がありますが、これは「治療に秀でた医師は、目の前の患者の体質を考慮して、次に起こる病態を予想し早めの手を打つことにより、未然に重大な病気の発生を防止する」という意味になります。『未病』は漢方・鍼灸両方の古典に記載を認め、東洋医学に携わるわれわれにとって、診療においてもとても大切な概念です。漢

方ドックの利点は、この『未病』の段階で診断ができ、対策を講じることができるとあります。

東洋医学の治療は、漢方や鍼灸治療が中心と考えられています。しかし、それらの治療法が必要となる前に、漢方的体質である証を考慮しながら、漢方的な考え方に基づいて日々の暮らしを重ねることの方がより重要です。それには漢方の養生の考え方が役立ちますが、江戸時代の貝原益軒が著した『養生訓』には「養生の根本は内欲を抑えることである」「飲食を適度にして過食をせず、脾と胃とを傷つけて病を誘発するものを食べないこと。また色欲を慎み、精力をたくわえ、正しく睡眠をとり、長時間眠ることや座ることをさけ、ほどよく運動をして気の転換をはかる」とあり、日常生活において、欲を慎み、食事、睡眠、運動なども適度に控えめな生活をすることが養生の根本であると述べられています。

最近では、いくつかの要因と死亡率に関する研究がされており、BMIという肥満度を表す指標については24程度、睡眠時間については7時間程度の人で死亡率が最も低い傾向であり、ほどほどを良しとする養生の

考え方をより肯定的にとらえてよい内容の研究結果も出ています。漢方ドックでは養生を重視し、患者様の体質を考慮した生活のアドバイスをしていきたいと思

## 伝統医療文化国際ワークショップ開催

医史学研究所 周防 一平



2016年1月9日、北里大学白金キャンパスアネックス棟2階東洋医学総合研究所セミナー室にて、

のなか100名以上、室外まで参加者が並ぶという熱気に包まれた会となりました。

伝統医療文化国際ワークショップ「鍼灸道 未来への軌跡」が開催されました。主催は京都大学人文科学研究所科学史研究室、共催は当研究所医史学研究所、学校法人兵庫医科大学、中医薬孔子学院で、3大学による合同イベントとなります。東洋医学関係者のみならず、中国哲学、国文学などの幅広い分野から参加者が集まり、会場定員80名

第一部は医心方研究会として以下の2題の研究発表が行われました。島山奈緒子(明治国際医療大学O.D.)「『医心方』巻六選読」、伊藤裕水(京都大学D2)「古訓で読む『医心方』(敬称略)」。第二部は公開講演会として基調講演を含む4題の講演がありました。二松学舎大学文学部町泉寿郎教授の「学術史研究に

おける日本漢学と医学史」。これまでの日本漢文学研究史を振り返りつつ、漢学の国際的意義や今後の漢学研究における課題が提示されました。

当研究所医史学研究部小曾戸洋部長の「漢方研究60年」。4歳時の『傷寒論』暗唱を皮切りに、現在までの研究業績についてのお話がありました。その中でも特に、馬王堆帛書の解読、『小品方』の発見、『孫真人玉函方』の発見は、世界に誇ることのできる研究成果です。



会場の様子

解」。黄先生は中国にお

ける鍼灸史研究の第一人者であり、経穴学の研究者としても有名です。来日しての講演は経穴に関するものが多く、専門である古典針灸学についての講演は初めてのことでした。自身の研究成果を例に挙げ、研究に対する姿勢、手法、考え方など哲学的ともいえる興味深い内容でした。

茨城大学人文学部真柳誠教授の「医籍研究の将来構想」。日本、中国、韓国などアジア文化圏に残存する医学古典籍について、書誌学的見地からの講演でした。

また、午前中には併催イ



講演中の黄龍祥先生

ベントとして術数学ミールディング2016も開催されました。演題は以下のとおりです。上なつき（京都大学O.D.）『金瓶梅』の葬礼における居住空間と女性」、伊藤裕水（京都大学D2）「尚書大伝初探」、伊藤令子（京都大学D1）

「類書に見る「異界」訪問譚の変遷」、李章元（京都大学M1）「囲碁の極意と魅力」（敬称略）。

今回のような学問的にも国際的にも「開かれた場」を、今後もつくっていきたいと思います。

## 医史学研究部部长就任挨拶

医史学研究部部长 星野卓之



漢方は経験に基づいた医学であるため、数百年前の知見を今日の症例に当てはめることができます。私が伝統医学に興味を持ったのは、先人に倣って治療したという内容のコラム「昔の人の杖にすがりて」（花輪壽彦著『漢方診療のレッスン』所収）を読んだのがきっかけでした。また内科医として日本人に適した食養生や薬物治療をするには漢方を学ぶべきと思ひ、花輪先生に師事することとなりました。まもなく「来歴

があつてこそこの薬」という小曾戸洋医史学研究部部長の話から、ある文化で脈々と受け継がれてきた病と癒やし「薬」を知るには、医療の歴史に関する学問である「医史学」が重要であると認識するようになりました。今こそ薬学では化学・生物学的手法を用いた基礎研究が中心ですが、臨床で薬を適切に用いるには経験の蓄積が不可欠です。特に天然物である生薬を絶妙に配合する処方について

は、過去の文献を厳密に検証する必要があります。日本では江戸時代に考証学という客観的に書物を研究する学問の方法論が医学において成果を上げ、臨床家にも多大な影響を与えてきました。

当研究所の医史学研究部は設立以来、小曾戸先生が中心となって東洋医学関連の貴重な資料を広く収集・調査し、国内外で評価される業績を上げてきました。また漢方医・針灸師等の教育や研究協力も継続的に行ってきました。この度、私が部長を引き継ぎ、漢方診療部と兼任していくことになりましたが、今後も多分野の専門家が集う学際的交流の場である医史学研究部を維持・発展させていきたいと考えています。

現在、医史学研究分野では中国の新資料（古代の出土物や未刊行の書籍）に注目が集まっています。また日本でも名医の蔵書がまとまって見つかかり、今後研究が進んで現代臨床に応用されて

いくことが期待されます。

教育分野ではインター

ネットを介して情報が簡単に手に入るようになり、学習環境に多様な変化が起きています。図書館のホームページでは著作権のない古書の画像が無料で公開され、学術論文のオンライン

閲覧が普通になり、辞書類

の検索も便利になりました。これらの情報技術の活用能力、リテラシーを高める教育が、理系・文系に関

わらず広まっています。し

かしどのように情報に振り

回されないようにするかも

大切で、先人の積み重ねて

きた仕事を切り売りしな

い、俯瞰的な視野も育む必

要があります。試みに「漢

方リテラシーを高めるため

に」という講義を新人教育

の場で行っていく予定です。

臨床分野では根拠に基づ

いた医療が広まっているも

の、漢方外来で個別に工

夫される処方、単純な臨

床研究では扱いにくいもの

です。臨床医の思考過程を

検証するには、問診デバ

スや電子カルテなどの診療

支援技術を介して情報を集

約するのが一つの解決策に

なるかもしれません。その

基礎となる用語や処方構成

データを準備すべく、処方

集や治療録の電子テキスト

を用意していきます。

医療は歴史・文化的に地

続きな人間の営みで、時が

移ろい疾病・薬法が変わっ

ても、症状の訴え方や治療

機転には共通した部分があ

ると考えられます。日常診

療に活かすという観点から

歴史学研究を進めていきたく

いと思ひますので宜しくお

願い致します。

外来窓口では売店や食堂

に関するご質問をよく受け

ますが、漢方鍼灸治療セン

ターのある建物にはご案内

できる施設がありません。

当センターにおかかりの患

者様に気軽にご利用いただ

ける施設をこの場を借り

て、いくつか紹介させてい

たきます。

まず初めに、北里研究所

病院2階に「レストラン

つくし」①があります。旬

の食材を取り入れたヘル

シーメニューや日替わりメ

ケーキなども取り

揃えています。ラ

ンチには限定数で

糖質制限食(月曜

日から金曜日11時

から16時)をお出

ししています。そ

の横には弁当・パ

ン、飲み物、新

聞、菓子、雑誌、

切手、衛生材料、

雑貨などを扱って

いる「ショップ

つくし」②があり

ます。次に、北里

大学薬学部1号館

構内には「Yショップ

プレール」③とい

う売店があり

ます。弁当・パン、飲

み物、新聞、菓子などの他に

北里大学限定グッズも取り

扱っています。最後に、1

階部分が全面ガラス張りに

なっている薬学部2号館に

は、「学生食堂 銀座スエ

ヒロ」④があり、一般の方

もお食事をとることができ

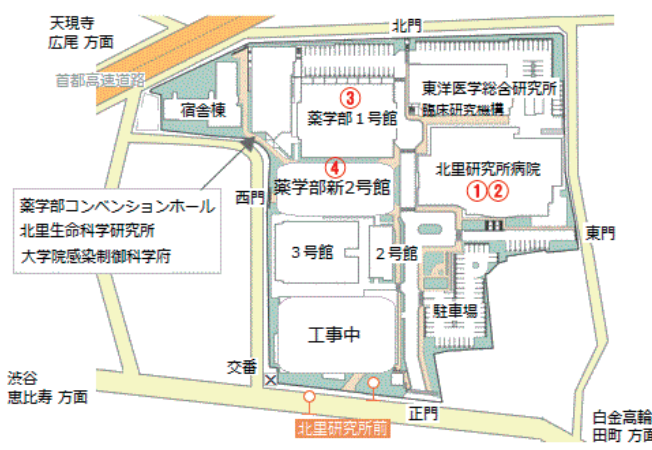
ます。診察の待ち時間や診

察後のお食事にぜひご利用

ください。

**外来窓口から**  
**—— レストラン・売店のご案内**

事務部 **佐久間 由佳**



※営業時間のご案内※

	営業時間		休業日
① レストラン つくし	平日	8:30 から 18:00	第4土曜日・日・祭日
	第1~3・5土曜日	8:30 から 15:00	
② ショップ つくし	平日	8:30 から 19:00	年中無休
	第1~3・5土曜日	8:30 から 17:00	
	第4土曜日・日・祝祭日	10:00 から 17:00	
③ Yショップ プレール	平日	9:00 から 19:00	第2・4土曜日・日・祭日
	第1・3・5土曜日	10:00 から 14:00	
④ 学生食堂 銀座スエヒロ	平日	11:00 から 15:00	土・日・祭日 ※時期により短縮営業・臨時休業あり
		(12:30 から 13:30 は学生優先のため利用不可)	

漢方豆知識

スモモ

薬剤部 高 際 麻奈未



スモモの花

スモモはバラ科、サクラ属の果樹で、東アジアに分布するニホンスモモ（以下、スモモ）は中国の揚子江沿岸地帯を原生地とし、中国、日本、朝鮮半島、東南アジアなどに分布しています。果実は6〜7月にかけて山梨、長野、和歌山などで多く収穫されています。健康志向の女性に人気の高いブルーベリーはヨーロッパを中心に栽培される西洋スモモの一種です。

中国ではスモモは古くから栽培され、五果（棗、李、栗、杏、桃）の一つとして大切にされてきました。文献から5〜6世紀頃には既に品種の改良も行われていたことがうかがえます。日本へはかなり古い時代に渡来し、『日本書紀』や『万葉集』などに「李」の名が見られ、わが国最古の本草書『本草和名』（918年）にも「和名須毛毛」の記載があります。スモモの語源は中国で「酸桃」と表記されたことにあり、酸っぱい桃⇨酸い桃⇨スモモとなったようです。スモモは江戸時代に栽培が普及していき、大正時代にはアメリカからジャパニーズプラム

として改良されたサンタローザ、ケルシー、ソルダムなどの品種が逆輸入され、今日栽培されている品種のもともになりました。プラムという方が馴染み深いのもこのためです。スモモは同一品種の花粉でも発芽しにくいいため、近縁の各種スモモやウメ、アンズなどの交配しやすい受粉樹を混植する必要があります。しかしスモモとは接ぎ木しやすいものの、やや交配しにくく、結実しません。「スモモもモモも……」という有名な早口言葉がありますが、実はモモとスモモはやや遠縁のようです。スモモは果汁が多く、果肉にはリンゴ酸やクエン酸などの有機酸を多く含んでおり、疲労回復に効果があります。ペクチンなどの食物繊維も多く含むので便秘予防にもなります。また、果皮や果肉には紅色素（アントシアニン）が含まれ、良質の天然色素として注目されています。漢方ではスモモの根皮を

「李根皮」といい、清熱や発作的な動悸、自律神経失調症状に用いられ、奔豚湯（『金匱要略』）や定悸飲などに配合されています。20年程前に母が好きなプラムソーダを飲みにつれて行ってもらいました。ルビーのような綺麗な赤い色が印象的でとても美味しかったことを覚えていいます。残念ながらその店は今はありませんが、もう一度飲みたい思い出の味です。

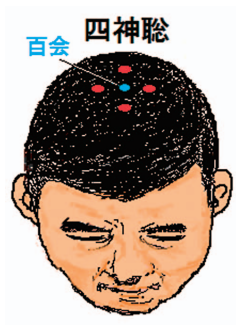
ツボの効用

四神聡穴について

鍼灸診療部 石原 武



WHOでは国際標準経穴として十四経絡上の経穴と、実際に有効性の高い奇穴、48穴を選定しました。その奇穴の一つに「四神聡（ししんそう）」というツボがあります。これは頭部の頂点にある督脈の百会穴から1寸の幅で、前後左右に4点を取穴するツボを総称しています。四神聡の最も古い記述は、992年に中国の唐代に成立した全百卷にも及ぶ大部の医書、『太平聖恵方』に「神聡四穴」の名称で記されています。そして本書以降の古典書には近代までこの名称で呼称されてきました。しかし新中国誕生以後からは、神聡四穴の名称は「四神聡」と一般的に呼称されるようになったようです。それはおよそ六、七十年前に始まった、文化大革命頃の急激な医療変革がなされた頃に簡潔な呼称として新しく命名されたのではないかと考えられます。古典書のなかには前面の



四神聡 百会

ツボを「前神聡」、後ろを「後神聡」と呼び、督脈経上にあることからこの両穴についての解説がなされて

いる書もあります。しかし左右の神聡穴についてはほとんど言及されていません。僅かに先の『太平聖惠方』にこの二つの左右神聡

穴に関して「左主如花、右主如菓」とだけ記述されています。このことは中国最

古の現存医学書である『黄帝内经素問』による「左は陽、右は陰」という基本的

概念から考えると、おそろく左右の神聡穴は臨床的作

用として陰陽のバランスをと

り、心身の働きを整える補助的な穴として機能して


いるのではないかと考えられます。

では四神聡穴は、どのような疾患の治療に用いられているのでしょうか？

皆様方もツボのある場所から考えて、おそらく頭に

痛・眩暈(めまい)・中風・癩癩・頭がスツキリしない、そして脱毛などの症状にも効果があるとされています。

古医書のはなし  
後藤良山とその著書  
北里大学客員教授 小曾戸 洋



日本漢方の特徴は古方の重視にあるとされます。後藤良山(1659~1733)は、一気留滞説を提唱

して日本古方派の事実上の祖となりました。

良山は江戸の常盤橋辺(現千代田区内)に出生。幼少時より聡明で、林家の昌平齋で経学を修め、牧村卜

寿に医学を学びましたが、卜寿の医学には疑問を持った

といひます。その後、27歳のときに父母を伴い、京都に転居しました。

京に移った良山は、身を立てるに、儒をもつてしては伊藤仁齋にしかず、僧に

なつても隠元を凌ぐことは叶わないと悟り、医道を選

びました。こうして名古屋の玄医の門を叩きました。貧乏な良山は玄医の要求する謝金が払えず、破門となり、これを恨んだ良山は発憤して苦学、独学。日夜猛勉強してついに一家を成したといひます。この逸話は江戸時代のいくつもの文献に載っています。温厚謙虚で内剛外柔の良山にはありえぬ作り話だといひ見方もあります(大塚恭男)。

良山は「百病は一気の留滞に生ず」という一気留滞説を創唱しました。一気留滞説はのちの吉益東洞の万病一毒論につながり、日本独自の医学形成にあずかったといひて過言ではありません。

せん。しかし古方派の祖といつても、良山の思想は東洞のように張仲景の古方一辺倒ではありませんでした。唐以前の医書には博通すべきであり、宋元明の陰陽五行による生理・病理・薬理説に幻惑されてはならぬと説いています。

良山の著書とされるものは少なくありませんが、自ら著述をなすことは好まず、今日伝わる著書は子孫や門人による筆記で、多くは写本です。

『病因考』は良山の病因に関する講義を門人の香川修庵が筆録し、それを良山の孫・後藤慕庵が宝暦7


年(1757)に校訂して『校正病因考』と題し、文化12年(1815)に至り、良山の曾孫・後藤洵実によって刊行されました。なお亀井南冥による本書の備考書『病因考備考』も伝わっています。

今年度より、当センター一階待合室にて、ブレンド茶を提供いたします。

お茶の内容は、ハッカ、ビワ、キタ、シソをそれぞれ主原料とし、季節に合っ

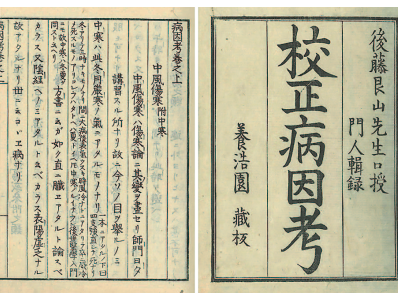
たといひて過言ではありません。

北里オリジナルブレンド茶  
薬剤部 室 生 真千子



今年度より、当センター一階待合室にて、ブレンド茶を提供いたします。お茶の内容は、ハッカ、ビワ、キタ、シソをそれぞれ主原料とし、季節に合っ

後藤良山先生口授 校正病因考 養浩園 蔵板



『病因考』(文化12年刊本、北里大学図書館所蔵)

せん。しかし古方派の祖といつても、良山の思想は東洞のように張仲景の古方一辺倒ではありませんでした。唐以前の医書には博通すべきであり、宋元明の陰陽五行による生理・病理・薬理説に幻惑されてはならぬと説いています。

良山の著書とされるものは少なくありませんが、自ら著述をなすことは好まず、今日伝わる著書は子孫や門人による筆記で、多くは写本です。

『病因考』は良山の病因に関する講義を門人の香川修庵が筆録し、それを良山の孫・後藤慕庵が宝暦7

年(1757)に校訂して『校正病因考』と題し、文化12年(1815)に至り、良山の曾孫・後藤洵実によって刊行されました。なお亀井南冥による本書の備考書『病因考備考』も伝わっています。

今年度より、当センター一階待合室にて、ブレンド茶を提供いたします。

お茶の内容は、ハッカ、ビワ、キタ、シソをそれぞれ主原料とし、季節に合っ

たといひて過言ではありません。

今年度より、当センター一階待合室にて、ブレンド茶を提供いたします。



ハッカの葉

メジメとした梅雨を爽やかな気分でご過ごしていただきます。  
夏は「ビワの葉」で、暑い日々を「元気に過ごしていただきます」。  
秋は「キクの花」で、読書で疲れた目を癒やしていただきます。  
冬は「シソの葉」で、年末や正月で疲れた胃腸の調子を整えていただきます。  
また、今回使用する主原料は、北海道の北里大学八雲牧場で栽培したのももあり、生薬としても利用できます。今後、ブレンド茶とともに、栽培状況の紹介もしていきます。



シソの葉



キクの花



ビワの葉

ご来院の際にはブレンド茶をご賞味いただき、待合室にておくつろぎください。

メディア紹介

〈テレビ〉

○TBS「健康カプセル! ゲンキの時間」「男の冷え」平成28年2月14日(日)伊藤 剛

〈新聞〉

○朝日新聞 平成27年12月6日(日)「くらしの扉」  
「自宅でお灸」伊藤 剛  
○日本農業新聞 平成28年2月3日(水)「大敵、冷え」に挑む」鈴木邦彦  
○読売新聞夕刊 平成28年2月22日(月)「漢方医触診情報数値化」小田口浩

〈雑誌〉

○(株)ヤクルト本社「ヘルシスト2月」「からだの不調・いつもの痛み第5回 冷え」平成28年1月10日(日)伊藤 剛  
○宝島社「NHKあさイチ マガジン」「すぐに寝入って、スッキリ目覚めるツボ押し術」伊藤 剛  
○日経BP社「日経ヘルス」「スパイスの機能性を活かす食習慣」平成27年12月28日(2月号)小林義典  
○プレジデント社「ALBA」「真冬のゴルフを楽しむために身につけたい男の冷え症対策」平成28年1月28日(木)伊藤 剛

○武田薬報web「知っておくと安心! ストレスとの付き合い方」花輪壽彦

東洋医学総合研究所 外来案内  
漢方鍼灸治療センター

休診日：日曜日・祝祭日・第4土曜日・年末年始(12/29～1/3)  
ホームページ：http://www.kitasato-u.ac.jp/touji-ken/

代表：03-3444-6161  
予約電話：03-5791-6169  
(月～金) 8:30～17:00  
(土曜日) 8:30～12:30  
(第4土曜日は除く)  
お薬に関するの問い合わせ：  
03-5791-6167

漢方科

(平成28年4月～)

鍼灸科

	月	火	水	木	金	土
午前	花輪① 星野 堀田 石毛	花輪 鈴木 石毛	花輪② 及川 川鍋 齋藤	花輪 小田口 及川 五野	伊藤(剛) 及川 鈴木 森	小田口 鈴木 森 川鍋 石毛 【小児外来】 堀田
午後	【冷え症 外来】 鈴木 星野 【思春期 女性外来】 森 川鍋	伊藤(剛) 鈴木 堀田 川鍋	星野 石毛 齋藤	小田口 及川 堀田 五野	【冷え症 外来】 伊藤③ 【便秘・下痢 外来】 星野 森 堀田	

	月	火	水	木	金	土
午前	伊藤(剛) 石原 黒岩 小山	柳澤 石原 小濱 小山	石野 石原 井田 黒岩	伊藤(剛) 石原 小濱 小山	石原 井田 黒岩 小山	伊東 石原 井田 黒岩 小濱
午後	石原 井田 小濱 小山	石原④ 井田 黒岩 伊藤(剛) 小山	石原 小濱 伊藤(剛) 掛川 霜降	井田 黒岩 伊藤(剛) 小山	伊藤⑤(剛) 石原 小濱 伊藤(剛) 小山	

初診受付時間

漢方科	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～10:30	8:00～10:30
午後	12:50～15:00	

鍼灸科	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～10:00	8:00～10:30
午後	12:50～14:30	

再診受付時間

漢方科	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～11:00	8:00～12:00
午後	12:50～15:30	

鍼灸科	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～11:00	8:00～11:30
午後	12:50～15:30	

漢方ドック

月～金(完全予約制)
9:00～15:30

漢方と鍼 第162号  
発行日/平成28年4月1日  
発行人/小田口 浩  
編集/北里大学東洋医学総合研究所  
漢方と鍼編集部 代表・星野 卓之  
東京都港区白金5-9-1  
TEL 03(3444)6161  
(制作/㈱医聖社)

※青字は男性医師または男性鍼灸師  
赤字は女性医師または女性鍼灸師  
※専門外来では一般の患者様の診療も行っています。

- ①：月曜日午前の花輪医師の外来は、初診のみとなります。
- ②：水曜日午前の花輪医師の外来は、第2水曜日が休診となります。
- ③：金曜日午後(第1・3)の伊藤(剛)医師の冷え症外来は初診のみとなります。
- ④：週によって休診となることがあります。
- ⑤：第2・4金曜日のみとなります。